

地域の味を伝え続ける

あらとまい農場

〒018-5201 秋田県鹿角市花輪字新斗米50番地
TEL 0186-25-2243 FAX 0186-25-3459 / <http://www.aratamai.jp>



鹿角の家庭の味 “しそ”の漬物屋・あらとまい農場

「鹿角の味です。
ぜひ一度食べて
みてくださいね」
と米田さん



故郷の味を守るために

鹿角の地で古くから家庭で親しまれてきた漬物を伝え続ける企業がある。昭和47年に創業したあらとまい農場がその一つだ。同社は現在、代表代行の米田久美子さんが切り盛りしている。

「代表である父を公私ともに支えてきた母が亡くなったことがきっかけで、3年前帰郷しました。前職は会社員。初めは何もわからなくて不安だらけでした。」

主力商品の“しそ大根”は鹿角地域に伝わる漬物ながら、作り手の高齢化が進むにつれ、だんだんと家庭から消えつつある。経営も自社商品についてもわからないまま、それでも久美子さんは故郷の味を守るため、地元の商工会や活性化センターへの相談等、手探りで自分ができることから取り組み始めた。

「経営相談から事業計画の策定、補助金制度の利用。とにかく素人だったし、頼れる人もいなかったのでも、色々と相談させてもらいました。商品である漬物の味も作り方も従業員の方がよく理解しているので、自分にできることと言ったら新しいパッケージの考案や設備の導入、販路拡大に向けた商談会やセミナーへの参加でした。」

今年は商談会に積極的に参加する傍らで、当センター

の設備貸与制度を活用し、老朽化した設備の更新にも取り組んでいる。設備が充実・安定することで、従業員や取引先の安心にもつながっている。

もっと若い人に食べてもらいたい

久美子さんが次の販売戦略のターゲットに据えるのは、漬物には縁遠いと目される若い人たちだ。新たな顧客層を確立することで販路が先細りしない未来を模索する。

「今考えているのは、“漬物”ではなく“お菓子”として売り出すこと。首都圏のテレビ番組で、うちの“しそ巻あんず”がお菓子として紹介されたことがあって、“漬物なのに!?”と驚きました。でも、時代が変われば、食べ方も変わってくる。若い人たちに受け容れられる、喜ばれる商品のあり方を、自分もわくわくしながら考えています。」



事業概要

設備貸与事業

中小企業者が導入を希望する機械設備について、割賦販売もしくはリースを行います。

お問い合わせ

設備・研究推進課

TEL.018-860-5702